

提出期限：令和7年3月22日(金)

令和 7年 2月 28日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	石垣和恵	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名 山形大学災害環境科学研究ユニット・エクステンションサービス推進本部	
	氏名	所属
	石垣 和恵	地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授
	熊谷 誠	地域教育文化学部 教育実践研究科 講師
	石瀬 素子	理学部 理学科 講師
	石黒 志保	人文社会科学部 人文社会科学科 講師
	大森 桂	地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授
	本山 功	理学部 理学科 教授
活動名	防災リカレント講座：地域防災力向上セミナー	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	山形県、山形市	
活動報告	<p>≪活動内容≫ 一般市民対象の防災をテーマとする公開講座を開講。令和5年度に行った同様のセミナーの講話に、今回新たに3つの講話を加えて5講話を開講した。体験型の「炊き出し体験ワークショップ」により実践的な学びを提供した。</p> <p>・オンライン講座（全5回）。</p> <p>(1)地震と震災～現象としての地震・災害としての地震～（石瀬） (2)山形県の活断層と地震活動（本山） (3)山形県の水害・土砂災害（本山） (4)歴史から学ぶ山形の災害における「食」（石黒）(5)被災時の食生活の現状と課題（石垣）</p> <p>・炊き出し体験ワークショップ（本学第一体育館前）。</p> <p>(1)被災生活と避難所（熊谷） (2)炊き出し体験（石垣・本山・熊谷・石黒）</p> <p>後援：山形県、山形市 協力：一般社団法人日本即席食品工業協会</p> <p>≪実施した効果≫ 20人の募集に対して13人の参加者があった（当日1名欠席）。オンライン講座では、地震・土砂災害等の防災に関する専門性の高い話題や山形県に密着した話題、災害に関する歴史に関する学びを提供し、災害発生メカニズムや災害への備えに関して理解を深めるとともに、ワークショップ（大人数用の炊き出しの実習）によって災害時の避難所運営に役立つ実践力の向上が期待できる。さらに、マンホールトイレ設営等を体験することにより、具体的な避難所運営のイメージを得ることができた。参加者は避難所に避難した住民の立場を体験し、さらに振り返りを行うことで避難所運営の課題を自ら抽出し共有することができた。</p> <p>これらの活動を通じて、参加者の防災実践力の向上が期待できる。</p>	

(裏面あり)

実施スケジュール	≪スケジュール≫ ・オンデマンド配信 令和6年11月1日～12月15日 ・ワークショップ 令和6年11月30日(土) 13:00～16:30 本学共育・共創みらいセンターおよび体育館前						
支援金の用途報告	合計 100,000 円						
	(内訳)	(品名・用途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	災害用マンホールトイレ		1	×	94,050	=	94050円
	カセットコンロ		1	×	5,467	=	5467円
	文房具(養生テープほか)		1	×	483	=	483円
次年度の計画について	令和7年度に防災に関する講座を企画・実施する予定。						
本事業へのご意見・要望							
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。	山形大学災害環境科学研究ユニット< https://yu-rcned.amebaownd.com >						

100,000

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp